



南和広域医療企業団発行

はびねすだより

～南和地域の医療と健康に関する情報誌～

3号



ヘリ搬送患者の受入を開始しました

今年度中には県のドクヘリが導入される予定ですが、7月から、隣接府県と共同運用しているドクヘリや県の防災ヘリで搬送される患者さんを南奈良総合医療センターで受け入れています。

(写真は6月のドクヘリ搬送患者受入訓練の1コマ)

今号の内容

- ・糖尿病センターの紹介 … p.2
- ・南奈良看護専門学校の紹介 … p.3
- ・認定看護師の紹介 … p.3
- ・私たちは「ちれん」です。
(地域医療連携室) … p.4
- ・「南奈良に誕生した
県立医大病院の産科外来診察室」
(助産師外来) … p.4
- ・編集後記 … p.4

南和広域医療企業団は、県と1市3町8村で構成し、下記の南和3公立病院を運営しています。

(連絡先)

南奈良総合医療センター 〒638-8551 吉野郡大淀町大字福神8-1 電話: 0747-54-5000

吉野病院 〒639-3114 吉野郡吉野町大字丹治130-1 電話: 0746-32-4321

五條診療所 〒637-0036 五條市野原西6-1-18 カルム五條敷地内 電話: 0747-22-2810

糖尿病センター の紹介

南奈良総合医療センターでは、診療科や医師、看護師、薬剤師、検査技師等の部門の枠を越えてメディカルスタッフが互いに連携することでチーム医療を行っています。今回から数回にわたり特徴的なチーム医療を行っているセンター機能を紹介します。



糖尿病センター長
川野 貴弘

糖尿病センターって何??

- ・糖尿病センターでは、糖尿病を中心に、高血圧症・脂質異常症などの生活習慣病を診療します。
- ・南奈良総合医療センターでは、糖尿病を専門とする医師に加え、16名の日本糖尿病療養指導士(CDEJ)が在籍しており、一つのチームとなって、糖尿病患者さんを中心に療養について考え、糖尿病という病気とうまく付き合いながら歩むことをサポートしています。

治療せずに高血糖状態のまま放置していると...

糖尿病神経障害

神経が部分的に死滅し、痺れや痛みが生じる。

糖尿病三大合併症

糖尿病網膜症

目の網膜の毛細血管に障害が起こり、視力低下や出血が生じる。

糖尿病腎症

腎臓の細い血管が障害を受け、老廃物をろ過する機能が低下する。

その他の合併症

心筋梗塞

脳梗塞

閉塞性動脈硬化症

白内障

歯周病・歯肉炎

糖尿病の合併症予防と充実した機能

南奈良総合医療センターでは、総合医療センターのメリットを活かし、糖尿病チームだけでなく、他診療科の協力により上記のような合併症にも対応します。

この他にも、インスリン自己注射やインスリンポンプの導入、血糖コントロール入院、糖尿病教育入院、慢性腎臓病教育入院、フットケア外来なども行っており、南和地域の糖尿病診療専門機関としての役割を担っています。

南奈良総合医療センター 糖尿病チームのご紹介



医師

普通の人と変わらない人間らしい生活を送ってもらうために糖尿病患者さんと一緒に歩んでいきたいと思っています。

歯科医師・歯科衛生士



お口の状態のチェックと効果的なハミガキ指導を行います。

看護師



日常の療養指導だけでなく、フットケアも行います。

薬剤師



処方されたお薬の説明を行い、不安がないようにサポートします。

管理栄養士



一人ひとりに合わせた食事療法の提案を行い、継続できるようにサポートします。

臨床検査技師



自己血糖測定器の使い方と検査結果の説明をします。

理学療法士・作業療法士



その人の身体に合った、無理のない運動の提案を行い、指導します。

※ 詳細につきましては、南奈良総合医療センターのホームページをご覧ください。糖尿病センターにお問い合わせください。

TEL 0747-54-5000 (内線 5410 看護部 米田師長まで)

南奈良看護専門学校を紹介

平成27年・28年実施 2年連続

看護師国家試験合格率 100%

看護専門課程(3年課程)看護学科
学年定員 40名



1. 南奈良看護専門学校は、奈良県立五條病院附属看護専門学校の伝統を引き継ぎ、新しい校舎、充実した設備教材を活用し、新たなカリキュラムによって看護実践力のある看護師を養成します。
2. 隣接する南奈良総合医療センターで卒業生から最新の医療や看護の知識、丁寧な実習指導を受けることができます。

<平成29年度学生募集案内>

入試区分	入試日	合格発表	願書提出期間	入試科目
学校長推薦 (専願)	10月29日(土)	11月4日	10月13日～21日	小論文 面接
公募推薦A (併願)	11月26日(土)	12月2日	11月7日～18日	学力試験 面接
公募推薦B (併願)	12月17日(土)	12月22日	11月28日～ 12月9日	学力試験 面接
一般入試	1月11日(水)	1月19日	12月19日～ 1月4日	学力試験 面接

募集案内は学校ホームページの「受験案内」からダウンロードすることが可能です。

学校見学: 平日10:00～16:00

※事前に電話を入れてください TEL0747-54-5061

認定看護師の紹介



認定看護師シンボルバッジ



認定看護師とは、5年以上の実務経験と6ヶ月の専門分野教育を受け、日本看護協会の審査に合格した者に与えられる資格です。各専門分野において、熟練した知識と技術をもって水準の高い看護の実践・指導および相談活動を行う役割を担っています。

当院では摂食・嚥下障害看護(佐谷)、がん性疼痛看護(岡本)、皮膚排泄ケア(馬場)、緩和ケア(辻本)、救急看護(福塚)、認知症看護(西)、感染管理(畠山)、手術看護(瀧岡)の計8分野、8人の認定看護師が所属しており、今後は看護専門外来の開設も予定しています。

次号より各認定看護師の紹介を掲載する予定ですので、ぜひご覧ください。

私たちは「ちれん」です。

「ちれん」とは「地域医療連携室」のことで、地域と病院をつなぐ仕事をしています。

当院で治療を受けた患者さんが、ご自宅で暮らせるように、お手伝いをしています。ご自宅への退院が難しい場合は、ほかの施設で療養が続けられるように、サポートしています。

また、地域のほかの病院、診療所、歯科診療所の先生たちと連絡を取り合っ、患者さんの診療が地元で途切れなく続けられるようにするのも「ちれん」の大切な仕事です。地域医療の充実・向上のための勉強会も開催しています。

いろいろ、仕事が多い「ちれん」ですが、元気に頑張っていますので、なにか困りごとがありましたら、気軽にご相談ください。



「ちれん」メンバー

平井

吉村

堀川

田中

中谷

永井

地域医療の充実・向上
のための勉強会
(病診連携研修会) のようす

「南奈良に誕生した県立医大病院の産科外来診察室」

南奈良総合医療センター 産婦人科部長 春田祥治

南奈良総合医療センター産婦人科では、開院当初より妊婦健診を行ってまいりましたが、このたび県立医大病院メディカルバースセンターの助産師が担当する助産師外来が誕生いたしました。こうして、①当センターで、県立医大病院と同レベルの医師と助産師による妊婦健診を受けて、②最新の設備と充実したアメニティーを兼ね備えた県立医大病院メディカルバースセンター（もしくは産科病棟）で出産する、という周産期システムが整い、南和地域にお住まいの妊産婦さんに、安全でより良い出産をしていただけるようになりました（※今秋、県立医大病院に新しい産婦人科病棟がオープンします）。また、県立医大病院で出産された方には、当センターで産後健診と新生児検診（小児科医が担当）についても受けていただくことができます。

皆様のお越しをお待ちしております。

Q 「メディカルバースセンター」とは？

A 助産師が中心となって、スムーズでかつ安全な分娩管理を行う施設です。県立医大病院では、順調な経過の妊婦さんは、原則メディカルバースセンターで出産していただくシステムになっています。もし異常が起こっても、速やかに医師が対応し、県立医大 総合周産期母子医療センターとも緊密に連携しています。

●助産師外来診察日

火曜日午前9時～（診察の際に助産師あるいは医師が予約します）

※ 医師による妊婦健診は火曜日および金曜日の午前に行っています。

※ 当科では帰省（里帰り）出産される方の健診も行っておりますので、お申し出ください。



編集後記

病院では、「糖尿病センター」・「ちれん」等、医師だけでなく、看護師や様々な専門職スタッフが協力して医療サービスを提供しています。そんな医療サービスを、皆さんが、ぜひ「知っている」に、そして必要な際には「活用できる」ように情報を発信していきたいと思ひます。センター機能、認定看護師については、次号でも紹介予定です。ぜひ、次号もお手に取ってくださいね。それでは、暑さに気をつけて！